

低温期におけるレタスの伸長性

福島県農業総合センター 作物園芸部野菜科

1 部門名

野菜—レタス—生理・生態

2 担当者

二階堂英行・佐藤正武・加藤義明

3 要旨

冬期にレタスを栽培すると、厳寒期に生育が停滞する。これは低温によると考えられるため、温度、品種間差及び幼苗期の生育と球重の関係について検討した。その結果、低温伸長性は品種間で異なり、2℃における3葉位葉長の伸長率が最も球重と相関が強く、伸張率118%以上で球重450g以上の品種群が分けられる。

(1) 草丈、葉数及び3葉位葉長を測定したところ、3葉位葉長が最も処理温度に対する応答が顕著である(図1)。

(2) 3葉位葉長の伸長率と球重との相関をみたところ、処理温度2℃でやや強い正の相関がみられる(表1)。

(3) 判別分析を行ったところ、450g以上の品種群を区別するには伸長率118%以上が必要である(図2)。

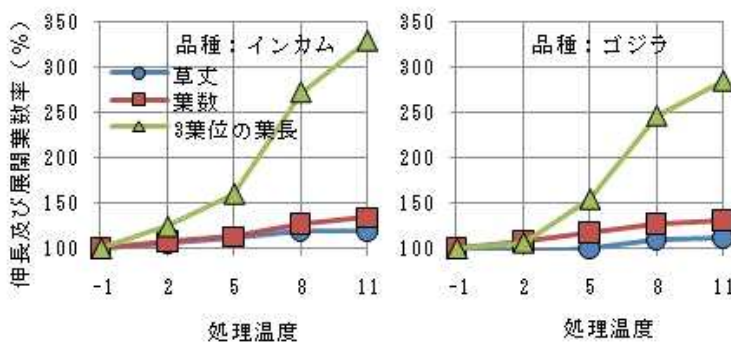


図1. 低温と生育の関係

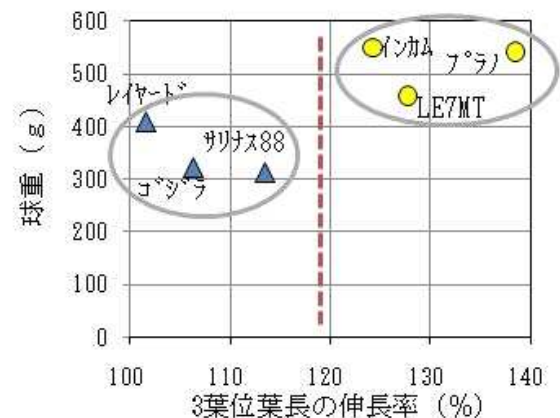


図2. 球重と3葉位伸長率(2℃)

表1. 球重と3葉位伸長率との関係

品種	球重	3葉位の葉長伸長率 (%)			
		2℃	5℃	8℃	11℃
インカム	550	124	160	272	328
ゴジラ	321	106	155	247	285
サリナス88	312	114	176	249	348
プラノ	542	138	162	254	343
レイヤード	408	102	137	221	278
LE7MT	459	128	156	259	290
球重との相関係数		0.75	-0.11	0.50	0.26

4 主な参考文献・資料

(1) 平成21年～平成22年度センター試験成績概要